

## 行政経営のあり方（案）

案1 共創により新たな価値を生み出す経営

案2 共創により新たな価値を生み出し、市民の生活をより豊かなものに

人口減少や人口構造の変化、価値観の多様化など社会構造が大きく変化していく中、行政経営においても、これまでに増して多様な公共サービス展開していくことが求められています。

このため、市民、地域、事業者など様々な担い手とともにまちづくりに取り組むことで、これまでにない新たな価値を生み出し、市民一人ひとりのニーズに適したきめ細やかなサービスを提供していくことが、これからの行政経営にとって大切なことであると考えます。

そこで、町田市を持つ情報をオープン化し、町田市の特性や課題を提示していくことで、様々な担い手が、その解決に向けて“投資したくなる”“関与したくなる”仕組みをつくりまします。

また、最先端の技術を活用し、公共サービスのスマート化を進めていくことで快適で利便性の高いまちを実現していくとともに、町田市の持つ魅力と強みを活かした公共サービスを広く展開していきます。

2040年に向けて、多様な主体と共に、市民一人ひとりに最適な公共サービスを展開していくことで、市民の生活をより豊かなものとし、市民それぞれの想いを実現できる、行政経営を目指します。

共創…市民や地域の方々だけでなく、団体や事業者など様々な担い手との対話を重ねながら、知恵を出し合い、ともに行動することによって新しい価値を創り上げていくこと。

行政経営の方向性

**多様な主体と共に、町田らしい公共サービスを展開していく**